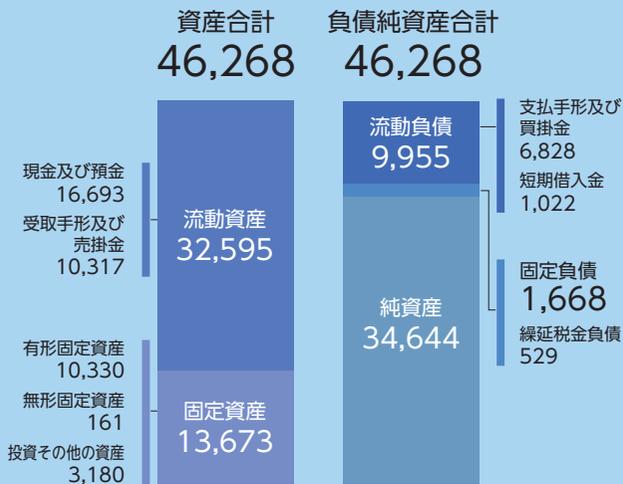


資産の状況

(単位：百万円)



地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



会社情報 / 株式情報

(2021年6月30日現在)

会社の概要

社名 千代田インテグレ株式会社
 設立 1955年9月
 本社所在地 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5
 資本金 23億3,156万円
 従業員数 213名(グループ総計 3,195名)

株式の状況

発行可能株式総数/発行済株式総数 32,600,000株/13,528,929株
 株主数 4,122名

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 剰余金の配当の基準日 12月31日
 定時株主総会 3月
 単元株式数 100株
 上場金融商品取引所 東京証券取引所
 (証券コード) (6915)
 公告方法 電子公告
 ただし、事故その他やむを得ない事由により
 電子公告による公告をすることができない場合
 は、日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>
 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 / 電話照会先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711(通話料無料)

株式事務に関するご案内

お手続き内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取請求 ○配当金の受領方法のご指定 	口座を開設されている証券会社へ お問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ○未受領の配当金のご照会 ○郵送物等の発送と返戻 ○その他一般的な株式事務 ○特別口座 	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 までお問い合わせください。 0120-232-711(通話料無料)

当社 ウェブサイトのご案内
 事業内容やIR情報などをご覧いただけます。

<https://www.chiyoda-i.co.jp/>



第66期 中間報告書

2021年1月1日～2021年6月30日



第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、景気対策の効果により回復基調が続きました。中国では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の抑制に成功し、早期に経済活動を再開させました。他のアジア地域では、感染力の強い変異株の流行により感染が再び急拡大し、一部経済活動の制限を余儀なくされ、感染抑制状況やワクチン接種効果に景気動向が左右され、先行き不透明な状況が続いています。さらに、世界経済全体として、半導体不足や物流輸送費高騰の影響等、不確実性の高い要素も依然として存在します。

また、我が国経済は、感染再拡大により緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出・延長され、経済活動にも影響を与え、景気を持ち直しの兆しがあるものの、厳しい状況となりました。

このような経営環境の中で、グループ一丸となり感染症拡大防止策を講じながら事業活動を行うとともに、事業領域を広げ、売上を拡大し利益を生む戦略を展開しました。

売上高	前年同期 16,022百万円
20,799百万円	前年同期比 29.8% ↗
営業利益	前年同期 388百万円
1,466百万円	前年同期比 277.7% ↗
経常利益	前年同期 478百万円
1,671百万円	前年同期比 249.3% ↗
親会社株主に帰属する 四半期純利益	前年同期 153百万円
1,127百万円	前年同期比 633.9% ↗

世界を歩く



シンガポール



社名	CHIYODA INTEGRAL CO. (S) PTE. LTD.
設立	1978年8月
所在地	2 Venture Drive, #11-09 Vision Exchange, Singapore 608526

拠点紹介

1978年にグループ最初の海外拠点として設立され43年目を迎えました。当初は工場として製造業務を行っていましたが、2014年に製造業務を移管してからは、経営環境の変化に対応するために東南アジアにおける統括拠点としての責任と役割が重要視されています。

事業の拡大に向けて

シンガポールは世界的にも最先端技術を取り入れている国であり、そこに多くの企業の研究開発拠点が集まっています。特に最先端機器に使用される半導体・センサーや周辺機器には絶縁・伝熱・断熱・放熱性能が高い素材が求められ、当社が開発する材料などを中心に営業活動を展開しています。

現在の様子

シンガポールは厳格な規制により、新型コロナウイルスの感染者を抑制しています。当社の従業員も在宅勤務を継続しており、WEB会議でパソコン越しに見るとベテランも若く見え、厳しい状況下ですが元気に協力して業務を行っています。前回の社員旅行ではタイに行きましたが、次回は日本に行きたいと思っています。



千代田インテグレの取組み

廃棄ダンボールの寄付

タイ現地法人では、本年4月よりコロナ禍における社会貢献活動の取り組みとして、廃棄ダンボールの寄付を行っています。これは、廃棄ダンボールを再利用して簡易ベッドを製作するためのものであり、これまでの寄付により約80台が製作されます(約14kgのダンボールから簡易ベッド1台が作られます)。このような状況の中、少しでもお役に立てて嬉しく思います。



本社ビル建設について

2021年2月16日に、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れていた本社ビル建設工事の安全を祈願した地鎮祭が行われました(竣工予定：2022年3月)。

新社屋は、防災対策BCP(事業継続計画)への対応や環境・省エネルギーに配慮した設備を導入する予定です。また、周辺地域への適応だけでなく、従業員の働きやすさにも配慮した設計となっています。

